

2022（令和4）年度 第38期事業報告書

自 2022年4月1日
至 2023年3月31日

公益財団法人 日中医学協会

はじめに

研究助成事業：

第五次日中笹川医学奨学金制度が2024年3月末で終了するのに伴い、日本財団、中国国家衛生健康委員会（中国保健省）と第六次制度発足に向けた協議を行い、2023年2月に三者間で合意に至りました。第六次制度では、現行の〈学位取得コース〉と〈共同研究コース〉を進化発展させると共に、〈ポストドクターコース〉を新設し、3月より募集を開始しました。

「第二次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト」は、COVID-19パンデミックにより中国国内における募集選考と来日研修の延期を余儀なくされ、第8期の来日研修を2023年度に繰り下げました。

学術会議開催事業：

日中国交正常化50周年記念慶典「日中茶話会―日中医薬交流」において小川秀興理事長が登壇し、「日中医療機関の交流と展望」の題目で講演し、当協会と中国政府との40年にわたる交流を紹介しました。

「日中医学交流会議2022」と「日中笹川医学奨学金制度35周年記念事業」は、COVID-19パンデミックの影響を受けて開催できなかったため、2023年度に開催を延期しました。

医療協力事業：

笹川医学奨学金進修生同学会（笹川同学会）が中国国内で実施する（1）短期診療技術・技能研修、（2）中長期診療技術・技能研修、（3）日中共同フォーラム、（4）地域医療支援活動、（5）支部学術交流会の5事業は、その目的を通底させ、笹川同学会が日中医学協会と共同で、日中両国専門家の講演と意見交換を通じて、政策提言を纏め、中国国家衛生健康委員会へ笹川同学会モデルとして報告することを目的としています。2022年度は日中医学協会からこれらの事業に延べ6名の日本の専門家を派遣しました。今後は、両国民の健康ニーズに沿った社会的に価値ある新たな事業を模索・検討して参ります。

この他、科学技術振興機構（JST）「さくらサイエンスプログラム」の採択を受け、中国の優秀な若手医療従事者、医学生と日本の専門家のオンライン交流を実施しました。

広報事業：

会員への新たなサービスの創出として、2022年度発行の『日中医学』Vol.37よりデジタル版（電子ブック）を発行し、WEBサイト上で閲覧できるようにしました。

以上、2022年度もCOVID-19パンデミックの影響を受けましたが、日中間でのオンラインまたはハイブリッド形式による事業実施が定着し、昨年度よりも豊富で細やかな内容で事業を実施することができました。また、中国からの事業提携の申し出に対応することも進めました。

1 当法人の現況に関する事項

1) 事業の経過及びその成果

2022年度は、ア研究助成事業、イ学術会議開催事業、ウ医療協力事業が COVID-19 パンデミックの影響を受けた。エ広報事業は、計画通りに実施できた。

医療協力事業においては、科学技術振興機構(JST)「さくらサイエンスプログラム」をオンラインで実施し、中国の若手医療者の日中笹川医学奨学金制度への応募者増加を期待したプランを試みた。

詳細は附属明細書に記した。

重要な成果

① 日中笹川医学奨学金制度（第六次制度）

- 日中医学協会－日本財団－中国国家衛生健康委員会の間で合意に至った。
- 現行の<学位取得コース><共同研究コース>を進化発展させ、<ポストドクターコース>を新設した。

② 日中笹川医学奨学金制度（第五次制度）

<学位取得コース>

- 学位取得者：第40期10名（累計）、第41期8名（累計）、第42期4名（累計）、第43期1名（累計）、第44期1名（累計）
- 第42期8名（内4名は第3年次助成（日本滞在中の者）、第43期10名（内3名は第2年次助成）、第44期11名の研究者助成
- 第43期7名、第44期11名の研究者が中間評価合格（第2年次の助成を行う）。
- 第45期の募集を開始した。

<共同研究コース>

- 第42期5名（内1名は2022～23年度）、第43期9名（内2名は2022～23年度）、第44期20名（内2名は2022～23年度）の研究者助成
- 第45期の募集を開始した。

<ポストドクターコース>

- 第45期の募集を開始した。

③ 日中間の事業において、オンラインまたはハイブリッド形式による事業実施が定着した。

計画の未達（COVID-19 パンデミックによる中止または遅延）

(1) 日中笹川医学奨学金制度

<学位取得コース>

- ① 第42期研究者：10名中、辞退1名、資格取消1名

<共同研究コース>

- ① 第42期研究者：20名中、辞退2名、来日再遅延13名
- ② 第43期研究者：20名中、辞退2名、来日再遅延9名
- ③ 第44期研究者：24名中、来日遅延4名

(2) 中国人医師・研究者招聘

① 第二次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクトの遅延

(3) 学術会議開催

① 「日中医学交流会議 2022」ほかの中止・延期

(4) 医療協力事業 6 分類の内、下記事業が計画の未達となった。

① 医療の国際化に係わる事業：日本式医療の拠点化に向けた事業性調査の遅延

② 専門家派遣事業：中国の医療機関・学術会議等への日本人専門家派遣（申し入れがなかった）

③ 医療関連訪日団等招請事業：中国病院長病院管理訪日事業及び法人会員、任意の医療機関・団体等からの申し出に基づく招請事業（申し入れがなかった）

中国の医療機関が派遣する医療従事者の訪日研修への支援（申し入れがなかった）

④ 訪中団派遣事業の中止

決算概要

会計別	予算額 円	決算額 円	達成 %
公益会計	455,669,970	196,212,505	43.1%
法人会計	7,469,030	8,167,237	109.3%

2) 資金調達等の状況

主な収益 ①日本財団助成金 140,459 千円

②会費/事業収益/受取寄附金 15,817 千円

3) 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

単位：円

区分	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
一般正味財産経常収益	200,903,220	109,893,217	105,924,379	188,131,250
同評価損益等調整前 当期経常増減額	-1,086,418	-3,250,587	-11,495,891	-16,248,492
同当期経常増減額	-1,086,418	-3,250,587	-11,495,891	-16,248,492
同当期経常外増減額	—	—	—	—
指定正味財産増減額	-1,800,000	—	—	—
正味財産期末残高	330,988,309	327,737,722	316,241,831	474,262,991

4) 主要な事業内容

事業	主な事業の内容
研究助成	1. 日中笹川医学奨学金制度（第五次制度） ① 第 42 期 ・学位取得コース第 3 年次助成（4 名/日本滞在中の者） ② 第 42 期 ・共同研究コース 5 名（13 名が来日遅延）

研究助成 (続き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2022 年 9 月 7 日 共同研究者集会 ③ 第 43 期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学位取得コース第 1 年次 7 名、第 2 年次 3 名 2023 年 3 月 27 日 研究一年経過後の中間評価（書面審査）7 名 ・ 共同研究コース 9 名（9 名が来日遅延、2 名が辞退） ・ 2022 年 9 月 7 日 共同研究者集会 ④ 第 44 期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学位取得コース第 1 年次 11 名 2023 年 3 月 27 日 研究一年経過後の中間評価（書面審査）11 名 ・ 共同研究コース 20 名（4 名が来日遅延） ・ 2022 年 9 月 7 日 共同研究者集会
学術会議開催	① 日中国交正常化 50 周年記念慶典「日中茶話会—日中医薬交流」で小川理事長が登壇
医療協力	1. 笹川医学奨学金進修生同学会事業 <ul style="list-style-type: none"> ① 短期診療技術・技能研修——高血圧、腹腔鏡、呼吸器疾患 ② 中長期診療技術・技能研修——高血圧、胃腸外科、肝胆膵外科 ③ 日中ハイエンド医学フォーラム——2022 年大健康フォーラム ④ 地域医療支援活動——新疆/高血圧、四川省/皮膚疾患 ⑤ 支部学術会議——上海市等 6 地区、日本支部 ⑥ 笹川同学会の要請に基づき上記③，⑤に延べ 6 名の専門家派遣（オンライン，会場出席）
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ① 機関誌『日中医学』の発行（第 37 巻 1～4 号） ② 『日中医学』誌のデジタル化（電子ブック版の発行） ③ ホームページからの情報発信（WEB コンテンツの充実） ④ メールマガジン（『日中医学協会 News』）配信

5) 会員に関する事項

種 類	当年期初	当期末末	増 減
名誉会員	8 名	8 名	100 %
個人会員	227 名	223 名	98 %
法人会員	62 社	59 社	95 %
特別会員	4 社	4 社	100 %

※ 会員規程第 9 条第 2 項に基づき、2019 年度から 3 年間会費未納の者（法人を含む）は、2022 年 3 月 31 日をもって退会扱いとした。

6) 職員に関する事項

職名等	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長 事務局次長	岡田 光子	2022年7月1日 2013年4月1日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局次長	池田 竜也	2022年7月1日	事務局事務の管理・運営全般及び事務局局長の補佐	重要な使用人
事務局参与 事務局長	本田 伸吾	2022年7月1日 2012年5月1日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
一般職員	末原 珠生		事務局事務(事業全般)	
嘱託職員	4名		事務局事務	無期契約3名

7) 役員会等に関する事項

① 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2022.06.13	公益第19回定時評議員会（ZOOM WEB 会議） <u>決議事項</u> 2021年度計算書類（決算報告）の承認の件 評議員の辞任に伴う補欠選任の件 <u>報告事項</u> 2021年度事業報告の内容報告の件 2022年度事業計画、収支予算の内容報告の件 代表理事が欠けた場合の職務代行の順位について	全員一致可決 全員一致可決
2022.09.06	公益第20回評議員会（決議の省略） <u>決議事項</u> 評議員の辞任に伴う補欠選任の件	全員同意・異議なし
2022.09.20	公益第21回評議員会（決議の省略） <u>決議事項</u> 理事の辞任に伴う補欠選任の件	全員同意・異議なし

② 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2022.05.18	公益第39回理事会（ZOOM WEB 会議） <u>決議事項</u> 2021年度事業報告の件 2021年度決算報告の件 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件 公益第19回評議員会（定時）の招集の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

2022. 05. 18 (続き)	<p>規程改定の件 代表理事が欠けた場合の職務代行の順位について</p> <p><u>報告事項</u> 代表理事、業務執行理事等の 2021 年度職務執行状況の報告 特別寄附金募集（日中笹川医学奨学金制度 35 周年記念事業）について 今後の事務局体制について</p>	<p>全員一致可決 全員一致可決</p>
2022. 08. 08	<p>公益第 40 回理事会（決議の省略）</p> <p><u>決議事項</u> 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件 副会長の辞任に伴う補欠選任の件</p>	<p>全員同意・異議なし 全員同意・異議なし 全員同意・異議なし</p>
2022. 08. 08	<p>公益第 41 回理事会（決議の省略）</p> <p><u>決議事項</u> 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件</p>	<p>全員同意・異議なし</p>
2022. 09. 26	<p>公益第 42 回理事会（決議の省略）</p> <p><u>決議事項</u> 顧問の辞任に伴う補欠選任の件</p>	<p>全員同意・異議なし</p>
2022. 12. 15	<p>公益第 43 回理事会（ZOOM WEB 会議）</p> <p><u>決議事項</u> 法改正に伴う規程制定の件 法改正に伴う規程改定の件 その他の規程改定の件</p> <p><u>報告事項</u> 代表理事、業務執行理事等の 2022 年 4 月～11 月職務執行状況の報告 第六次日中笹川医学奨学金制度について 日中笹川医学奨学金制度 35 周年記念事業の開催について</p>	<p>全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決</p>
2023. 03. 06	<p>公益第 44 回理事会（ZOOM WEB 会議）</p> <p><u>決議事項</u> 2023 年度事業計画（案）の件 2023 年度収支予算（案）の件 2023 年度役員賠償責任保険契約更新の件</p> <p><u>報告事項</u> 役員等改選手続きについて 第六次日中笹川医学協力プロジェクトについて 委員会委員の改選について</p>	<p>全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決</p>

8) 許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日	備考
該当事項なし			

9) 対処すべき課題

- 第六次日中笹川医学奨学金制度(第六次制度)が日中医学協会－日本財団－中国国家衛生健康委員会の間で合意に至った。第六次制度では、第五次制度の<学位取得コース><共同研究コース>を進化発展させると共に、<ポストドクターコース>が新設され、2023年度は第45期研究者を募集・選考する。
- 未だ収束が見通せない中、COVID-19 パンデミックの影響を受けた事業の停滞(未達)が多く見られ、第五次制度の<共同研究コース>においては、来日遅延が第42期13名、第43期9名、第44期4名あった。
- 中国内の銀行口座開設が困難なため中国の会員が減少している。会員拡大の工夫が必要である。

対処方針

- 日中両国の国益に適う研究成果が得られるよう、制度の意義確認と共に、制度の質向上に向けた運営に努める。
- 第五次制度は2023年度が最終年度であるため、早期の来日を促し、未達の縮小に努める。
- 機関誌『日中医学』のデジタル化を機に、中国での読者拡大＝会員拡大を図る。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
理事長	小川 秀興	2023.03.31	非常勤	48千円	学校法人順天堂理事長
副会長・理事	安達 勇	〃	〃	48千円	
業務執行理事	跡見 裕	〃	〃	51千円	
	新井 一	〃	〃	51千円	
	春日 雅人	〃	〃	46千円	
	日比 紀文	〃	〃	39千円	
理事	尾身 茂	〃	〃	12千円	公益財団法人 結核予防会理事長
	角田 徹	〃	〃	—	
	加藤 照和	〃	〃	36千円	株式会社ツムラ 代表取締役社長 CEO
	手代木 功	〃	〃	24千円	塩野義製薬株式会社 代表取締役会長兼社長
	永田 良一	〃	〃	36千円	株式会社新日本科学 代表取締役会長兼社長

理事	林崎 良英	〃	〃	36 千円	株式会社ダナフォーム 代表取締役
	平岡 眞寛	〃	〃	24 千円	
	堀田 知光	〃	〃	36 千円	
	宮島 俊彦	〃	〃	24 千円	日本製薬団体連合会 理事長
	山下 俊一	〃	〃	36 千円	
辞任理事	松原 謙二	2022. 07. 08	〃	—	

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

(2) 監事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
監事	三宅 養三	2025. 03. 31	非常勤	75 千円	公益社団法人 NEXT VISION 理事長
	金井 正義	〃	〃	75 千円	

注) 報酬等は監事監査、理事会・評議員会等の出席手当

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
	石館 光三	2025. 03. 31	非常勤	—	
	一戸 達也	〃	〃	—	
	今村 英仁	〃	〃	—	
	大友 克之	〃	〃	12 千円	
	緒方 剛	〃	〃	—	
	緒方 晴彦	〃	〃	12 千円	
	尾松 素樹	〃	〃	12 千円	
	木澤 晃代	〃	〃	12 千円	
	小林 百代	〃	〃	—	
	杉山 清	〃	〃	12 千円	
	高木 俊明	〃	〃	—	テルモ株式会社代表取締役 役会長
	高橋 和久	〃	〃	12 千円	
	高松 研	〃	〃	12 千円	
	田平 武	〃	〃	12 千円	
	寺本 明	〃	〃	12 千円	
	根本 則道	〃	〃	—	
	松本 謙一	〃	〃	—	サクラグローバルホール ディング代表取締役会長
	山口 建	〃	〃	—	静岡県立静岡がんセンター 総長
	山田 陽城	〃	〃	12 千円	NPO 法人 DNDi Japan 理事 長

辞任評議員	青木 裕明	2022. 07. 15	〃	12 千円	
	橋本 省	2022. 07. 08	〃	—	
	三村 孝仁	2022. 04. 15	〃	—	テルモ株式会社代表取締役 役会長

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

(4) 役員等の報酬等（辞任含む）

区 分	人 数	報酬等の総額	備 考
理事	17 名	547 千円	辞任 1 名
監事	2 名	150 千円	
評議員	22 名	132 千円	辞任 3 名

3. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

第 39 回理事会（2022. 05. 18）において、①理事会運営規則、②印章取扱規程を改定、第 43 回理事会（2022. 12. 15）において、法改正に伴う規程の制定（③個人情報保護に関する基本方針、④個人情報等管理規程、⑤本協会が業務上保有する個人情報等の利用目的、⑥職場におけるハラスメントの防止に関する規程）、法改正に伴う規程の改定（⑦育児・介護休暇規則、⑧公益通報者保護に関する規程）、その他規程の改定（⑨財務規程、⑩文書取扱規則）を、それぞれ制改定した。

2022年度事業報告書
公益財団法人日中医学協会
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2023年5月22日
発行人 小川秀興
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3
住 泉 K M ビル 6 階